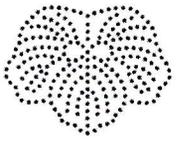


「リゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という気持ちでお届けしています。



リゅうま伝

61号

2024年12月26日
高野 亮馬

「ピニックのガウン」

先月福岡マラソンを走ってきた高野です。気候も良く10kmと15kmと絶好調。ところが20kmくらいから異変が。足が全然前に進まなくなりました。

あとあと調べるとリタイアする人はだいたいこんな感じのようですが、この時点ではまだ本当に自分がリタイアするなんて夢にも思いませんでした。

福岡マラソンはお祭り気分のランナーが多く、大学生が法被を着て走ったり、まんがキャラクターの被り物してるのも可憐く見えます。

でもそれは自分に余裕がある時の話で、折り返しくらゐからそんな余裕も無くなっていました。

そしてちうど折り返し地点で

事件は起きるのです。角刈りの男に追い抜かれたのです。

その男はピニックのガウンを着て大きな白い羽をつけ、背中には「おかま道」と書いているではありませんか！

それを見た瞬間、心は折れ、足が止まりました。

「俺は、俺は...そんな多様性なんか認めんけんね」そう呟きながら歩き始めました。治道から響く「頑張り〜」という声援も苦痛に変わります。

「もうこれ以上頑張りんくらしい頑張り〜」
「まだ「ナイスラン」と言われると歩いてても救われる気がします。」

結局折り返し地点から、ほぼ

ウォーキングでした。吐き気、寒気、腹痛と最悪の状態。とうとう30kmの救援所でリタイア。3回目の挑戦にして初めての失態です。

リタイア組はバスに乗ってゴール地点まで運んでもらえるのですが、車内は、まじ見事にどんよりとした雰囲気。マラソンをナメてたのかも知らないかと猛反省。

しかし、人の不幸は蜜の味というように、レース後「どうだった？」と聞かれ、「恥ずかしなからリタイアしました」と答えると、皆何故かニヤツとされます。それがまた妙に悔しくって...

こんな敗北感を味わったのはいつ以来でしょうか？そんな訳で来年3月の佐賀マラソンに向けて熱心に練習するようになりました。

人は悔しい思いをするから、そんな本氣に向き合うのかも知りません。今までマラソンなんて、

「完走すれば充分」と思っていました。急ぎに完走目標タイムも湧いてきました。次はあのオカマに負けんけんね。そんな感いで走る今日この頃です。

今までの日取高記録が5時間29分の亀さんランナーの間ですが、来年は一気に1時間以上縮めて、「サブ4(4時間切り)ランナーになる！」そう宣言して2024年を終わります。

皆さま、今年もご愛顧のほど有難うございました。良いあ年をお迎えください。



たかの財形事務所

〒819-0374 福岡市西区千里 707-13

☎090-3407-2123

<https://www.takanozaikei.com> X-1L fp.takano@gmail.com